



環境エコ通信

天草市立有明小学校
環境教育担当
R2年11月30日

ご協力に感謝!!

リサイクル



今年度、実質的には7月より始めた本校児童によるリサイクル活動ですが、毎週金曜日にはたくさん子どもたちが、ペットボトルキャップや空き缶などを持って登校してくれます。「子どもには持てなかったから…」と言って、大量のペットボトルキャップをわざわざ学校まで運んでくださったご家族の方もいらっしゃいます。本当にありがとうございます。山積みになっていくペットボトルキャップにも驚きですが、テープの巻き芯もたくさん寄せていただけていることにも、本当に感謝です。引き取り先のニチバンさんから、回収・送付用に箱を預かっているのですが、その箱数杯分の巻き芯が集まっています。「どうやって送付すればいいのか問い合わせなきゃ。」と、嬉しい困惑です。

しかしここで、大切なお知らせです。今年度のテープ巻き芯の回収締切が、12月25日（金）必着となっています。その週の初めには送付したいと思っておりますので、ご家庭にまだ巻き芯が残っていましたら、前の週の18日（金）までに学校に届けていただきますよう、よろしくお願いします。来年度の回収につきましては、新年度の要綱等を検討し、可能であれば引き続き取り組みたいと思っています。ペットボトルキャップとアルミ缶につきましては、今後も引き続き回収いたしますので、毎週金曜日、お待ちしております。



9月末に行った環境ISOへの取り組みの児童の振り返りでは、前期リサイクル活動に参加できた児童が50%程でした。全児童が地球環境に関心を持って、今年度中に1度でも、例えば数個のペットボトルキャップでも構いませんので、リサイクル活動に参加してくれることを期待しています。

今、できることは？



先日某テレビ番組で、「環境先進国だったはずの日本が、今では環境後進国。」という話題が放送されていました。また、別のニュース番組では、「世界各国で脱炭素化の動きが進み、イギリス政府は、2030年までにガソリン・ディーゼル車の販売を禁止する。ハイブリット車も規制をクリアしたもの以外は35年までに販売を禁止する。」という内容が放送されていました。世界の脱炭素化は進み、日本だけ取り残されているのが現状のようです。

新型コロナウイルスの問題も一緒ですが、政治や経済、色々な問題が絡み合って、それぞれに「正論」もあり、何が正解なのかはわかりませんが、私たちの大切な地球を守るために、自分が今できることをやっていくしかないのかもしれないかもしれません。「脱炭素社会」をめざして、できることをやっていきましょう。

～身近な生活の中でできそうな脱炭素化への取組例～

- ★近場に行くときは、車を使わず徒歩か自転車。（運動不足の解消にもなりますね。）
- ★必要ないものは買わない。買うときは最低限の量。そしてできる限り天然素材のもの。
- ★暑さ寒さ対策は、可能な限り衣服で調節。（換気が叫ばれる今は難しいかもしれませんが。）
- ★食材は、旬のもの、地域で採れたものを利用する。

それぞれのご家庭や個人でライフスタイルは違います。できること、できないことはあるかと思いますが、「脱炭素社会」について考えることは、これからの地球で生きる私たちの責務なのかもしれませんね。是非ご家庭でも、「我が家の脱炭素化」を考えてみてください。



